

平成31年度(令和元年度)

病院事業 企画経営課の方針書

組織名	病院事業 企画経営課
所属長名	課長 浮嶋 優子

1. 組織の使命(ありたい姿)

両病院が協力して、地域の人々が安心して暮らせるように必要な医療を提供する。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・毎年コスト削減の提案として共同購入についての意見があるが、可能な品目について具体的な取り組みができていない。
- ・両病院の医療機能が違うため、人事交流ができていない。

3. 今年度の『スローガン』

本物は中身の濃い平凡を積み重ねる

4. 今年度の方針

市立横手病院と市立大森病院の円滑な病院事業運営をおこなうための相互調整を行う。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	共同購入によるコスト削減
	取組内容	共同購入が可能な品目の選択とそれらの購入によるコスト削減に取り組む。
(2)	実現したい成果	財務会計システムバージョンアップ
	取組内容	新しいサーバーに対応したシステムを導入するとともに、財務諸表が作成できるように、構成を検討しバージョンアップを図る。
(3)	実現したい成果	
	取組内容	

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

両病院の医薬品購入データの収集を行った。今後データの分析・価格比較を実施し来年度の契約につなげる。
財務会計システムバージョンアップについては、1月のシステム更新に向けて契約締結準備中。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- ・医薬品共同購入
横手病院と大森病院の同時期のデータ収集を再度1月末に実施。
同じJANコードで、同程度の数量の薬品を抽出し、病院間で価格差のあるもの、業者の違いについて整理。
来年度の共同購入の手順を整理。
- ・財務会計システムの更新作業
現在のサーバー室の環境および設定端末、スケジュールを整理し、サーバーのサポートが切れる前に確実に実施する。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- ・医薬品共同購入
両病院のデータ収集を行い、簡易的な分析は実施したものの詳細な分析及び単価低減につなげる業務について、実施できなかった。次年度について、先進病院の事例の情報収集をする等を行い再度、実施する。
- ・財務会計システムの更新作業
サーバーの更新・端末設定等、円滑に実施できた。次年度について、財務諸表作成に関するアップデートを実施予定。
- ・両病院合同研修会
元自治体病院協議会 会長 邊見先生を講師に迎えて、両病院の合同研修会を実施した。